川崎大師ロータリークラブ週報

第 41 期
会　長　鈴木昇二
副会長　牛山裕子
幹　事　清水宏明
ＳＡＡ　秦　琢二

例会場：大本山川崎大師平間寺信徒会館
例会日：毎週水曜日　PM12：30

事務局：〒210-0812 川崎市川崎区東門前 1-15-10 カーサ石井 1F
Tel.044-277-7569　Fax.044-288-8550
URL http://kawasakidaishi-rc.com/　E-mail:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

第 1980 回（本年度　第 21 回）　例会　平成 25 年 11 月 27 日　　晴

●司会　　秦　琢二　ＳＡＡ
●点鐘　　鈴木　昇二　会長
●斉唱　　四つのテスト

♪ソングリーダー　　須山　文夫　会員

卓話者の紹介　　鈴木　昇二　会長
米山奨学生　　白　玉香　様

ゲスト紹介　　鈴木　昇二　会長
米山奨学生　　白　玉香　様

来訪ロータリアンの紹介　　岩井　茂次　委員長
川崎中央ＲＣ　　森川　友生男　様
〃　　吉岡　剛　様
〃　　小倉　太郎　様

会長報告　　鈴木　昇二　会長
1、大師小学校 140 周年式典参加の報告
2、まちの縁側大師からのお礼
3、神奈川県ＲＣ親睦チャリティ野球大会の件

4、7RC ゴルフ大会のトロフィー他授与

5、12 月 11 日にローターアクトクラブの例会があります。卓話に川崎ＲＣ会員の紹介の弁護士さんが来ます。多くの会員のご参加お願いします

幹事報告　　清水　宏明　幹事

1、12 月４日はクラブ総会です。出席をお願いします。

2、Ｒレート 12 月：100 円／１＄

3、他クラブの例会変更のお知らせを回覧します。

出席報告　　須山　文夫　出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
1980 回	55	44	26	18	59.09 %
1978 回	55	43	22	21	51.16 %
前々回の修正・ﾒｰｸｱｯﾌﾟ			10	修正出席率	74.42 %

メークアップ

鈴木　幹久・野沢　隆幸・林　鶴・嶋崎　嘉夫
細谷　重徳・矢野　清久・須山　文夫・小林　勇次
飯塚　元明・内田　省治　　各会員

スマイルレポート（ニコニコボックス）岩井　茂次　会員

川崎中央ロータリークラブ　森川　友生男　様

本日は、お世話になります。勉強させて頂きます。

川崎中央ロータリークラブ　吉岡　剛　様

今日は宜しくお願い申し上げます。

川崎中央ロータリークラブ　小倉　太郎　様

初めてのメークです。本日はよろしくお願い申し上げます。

鈴木　幹久　会員

①白さんの卓話を楽しみにしています。

②島岡さん、先日はありがとうございました。

宮山　光男　会員

昨日の歴代会長会出席の皆様、ありがとうございました。大変、有意義な会でした。

竹中　裕彦　会員

草野球報告　①全国大会は、ミスが出て古豪松山南さんに惜敗？してしまいました。②神奈川大会は、見事に？優勝できました。　皆さんの支援のお陰でございます。ありがとうございました。

水口　衛　会員

草野球同好会の皆様、全国大会・神奈川県大会おつかれ様でした。

清水　宏明　幹事

白さん、卓話宜しくお願いします。水口さん、チケットありがとうございます。

牛山　裕子　副会長

11 月 24 日(日曜日)、少々早めの地区米山年末パーティーが、キャメロットジャパンで開催されました。米山奨学生・学友 17 名が振袖姿で登場し、特に白玉香さんは、着こなしが上手で清楚でした。当クラブからはご出席なし、ご覧頂けなくて残念でした。

鈴木　昇二　会長

①昨日のパスト会長会にご参加の皆さまお疲れ様でした。

②白さん、卓話宜しくお願いいたします。

本日のニコニコのテーマ

「白玉香様、卓話宜しくお願い致します。」

横山　俊夫、出井　宏樹、伊藤　佳子、秦　琢二、石渡　勝朗、竹内　祥晴、宮沢　和徳、岩井　茂次、布川　二三夫、中村　孝、船山　昭三、坂東　保則、増田　昌美、各会員

委員会報告

クラブ雑誌広報委員会　　遠藤悦弘　委員長

ロータリーの友今月号に 2590 地区、地区大会のもようが掲載されてます。

地区ＲＡＣ委員会　　横山　俊夫　委員長

川崎大師ローターアクトクラブ 12 月 11 日（水）例会では川崎ＲＣメンバーで弁護士の安藤　肇様に卓話をしていただきます。多くのメンバーの出席をお願いします。

草野球同好会　　竹中　裕彦　マネージャー

11 月 16 日ＲＣ全国大会が東京調布むらさきＲＣホストで開催され大師クラブは強豪松山南ＲＣと渡り合い 1-9 で惨敗を期しましたが、11 月 20 日の神奈川県大会では優勝を勝ち取ってまいりました。これも皆様の応援と多くの Donation の賜物です。ありがとうございました。

卓話者の紹介

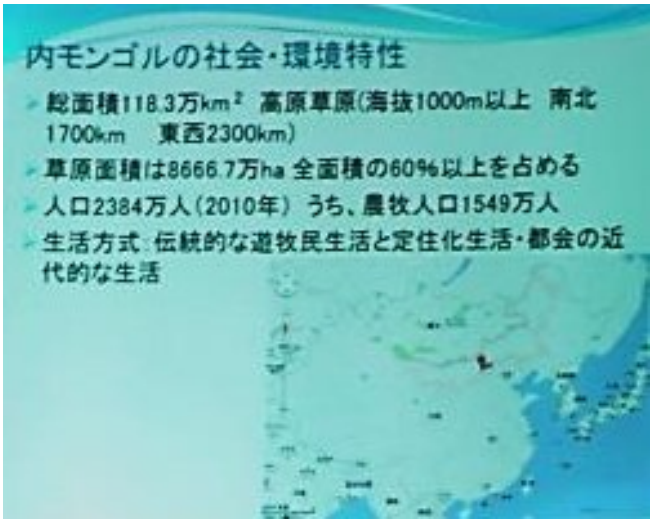
国際奉仕委員会　　坂東　保則　委員長

卓話

「故郷の内モンゴル草原の変化と私の研究」

米山奨学生　　白　玉香　さん

私は横浜国立大学大学院環境情報学府環境リスクマネジメント専攻博士後期課程に所属する中国・内モンゴル自治区出身の留学生です。故郷の内モンゴルは、広大な草原地或を有し、家畜を牧草地に放牧する遊牧生活が自然の恵みで長い間適応してきましたが、今では人口増加に伴う利用方法により、草原が砂漠化されています。草原の砂漠化は年間40万haのスピードで進行しており、総草原面積が1970年代の50%まで減少していると言われています。このような土地の急速な砂漠化は地域住民の生活、生業に影響を与えるようになり、春季に吹く砂嵐で健康被害を受けています。しかしながらその一方、草原の砂漠化を引き起こしたのが草原を利用する人々の生活活動であることから解決が難しいという状況にあります。草原生態系のリスクの管理から発し、草原生態系システムに悪影響を及ぼす要因を予め予測し、慎重に計画を立てて利用、開発が求められています。



自分が研究している地域は、内モンゴルの東部地域に位置しているホルチン砂漠の一部に当たる通達庫論旗マンハン（モンゴル語の砂漠の意味）地域です。本地域は多くの農牧民が牧畜業と農業に従事している農牧交錯地帯ですが、開墾や家畜の経営が草地の復元能力を超えてしまい、その名の通り、マンハン地域は65%以上が草地の劣化、砂漠化されてしまいました。

このような状況を踏まえて政府からは砂漠化を食い止め、地域の住民生活の向上策として、家畜放牧を禁止し草原の回復を図りました。家畜が地域住民の財産の一部であることから手放すことができず、禁牧の後は今までにない問題に直面し生活、文化の変化をもたらしています。そして、その中で注目しなければならないのが、家畜を禁牧しても餌を食べることに変わりなく、その餌を新たに土地開墾して生産していますが、この生産方式では草原の生態系が回復するのか疑問を抱いています。それは、内モンゴルの草原の破壊は家畜の破壊が深刻に存在していますが、その「過」放牧の「過」に問題があり、自然条件から考えれば開墾にあまり適していないからです。長い遊牧生活はこのことを証していると思います。家畜は草原の維持に重要な要素であり、完全禁止をするのではなく、適切な家畜の放牧がよいと思います。その為に草地放牧をしながら地域住民の生活が成り立つことができるような経営方法を取り入れる必要があると考え、家畜の数を環境包容力に合わせ、さらに自然で安全な牛乳生産をし、小規模酪農としての成功例である日本の岩手県にある放牧山地酪農家へ研修に行きました。

このような経営ができるには牛乳・乳製品を安全で高付加価値があると見なし消費する消費者の存在が必要であることから、マンハンの都市部にて消費者の乳製品購入時の選好意識と乳製品市場状況を把握するアンケート調査を実施しました。アンケート調査を分析して博士論文の一部にし、マンハン地域の多くの農牧民の生活向上に少しでも提案できるよう模索をしています。

鈴木会長ご自慢の陶芸室で陶芸を楽しむ白さん

「うわわぁ～失敗しちゃった！！？」

スケジュール予定

12 月 19 日　家族会　ニューグランドホテル

1 月 8 日　　4 クラブ新年合同例会　日航ホテル

次回例会　12 月 11 日（水）

通常例会

卓話　「笙を通じて雅楽の魅力を知る」

：クラブ会報委員会：

増田昌美／竹田正和／須山文夫／飯塚元明

竹中裕彦／水口　衛／岩井茂次／中村　孝